

雲仙地獄：「地獄」へようこそ

雲仙に足を踏み入ると、空気中の硫黄の匂いや、地中から吹き出るガスや水の音、風で渦巻く湯煙の煙柱に誰もが気づきます。ここでの放出活動は、火山活動が今でも地表からそう深くない場所で行われている証拠です。この現象が起こる地域は「地獄」と呼ばれ、仏教において悪行を行った者が受ける苦しみの象徴から来ています。

地中から放出される熱

この「地獄」は、町を囲む緑豊かな山々と印象的なコントラストを生み出しています。巨岩から砂土まで、色とりどりの霞んだ岩が点在する荒地が広がり、地面のいたる裂け目から水やガスが噴き出しているように見えます。遊歩道は、様々な「地獄」や見所の近くを通ります。ガスが静かな音を立て地面から漏れ出しているところもあれば、大きな音を上げて激しく噴き出しているところもあります。強い硫黄臭があるものの、一般人が入れるエリアの硫化水素ガスのレベルでは人体に害はありません。ただ、蒸気は120℃もの高温にまで達することがあります。

生活の一部

「地獄」の水の持つ熱エネルギーやミネラル成分はこの地に温泉をもたらし、何世代にも渡って観光客を魅了してきました。そのため、これらの「地獄」は、地元の人々の生活基盤となっています。この「地獄」はまた、地域に根付いた美しい名所でもあります。この地では、家族に向かって「地獄に行ってきます」と言うことは決して珍しいことではありません。